

ひきこもり、不登校に関する  
支援マップ作成  
2025年度

---

NPO法人南大阪サポートネット

2025年4月20日

# NPO法人南大阪サポートネットの歩み



- 1998年 CAPプロジェクト大阪狭山設立 市内の小中学校へプログラムを届けに
- 2001年 南大阪サポートネット設立 エンパワメントの実現に向けて活動
- 2005年 3月末日、特定非営利活動法人を設立
- 2008年 大阪狭山市男女共同参画推進センターの事業受託
- ~2019年
- 2014年 ひきこもりの若者自立支援を開始
- 2017年 居場所『To-Villa (トビラ)』を開設

# Mission 『生きづらさ』をサポートする



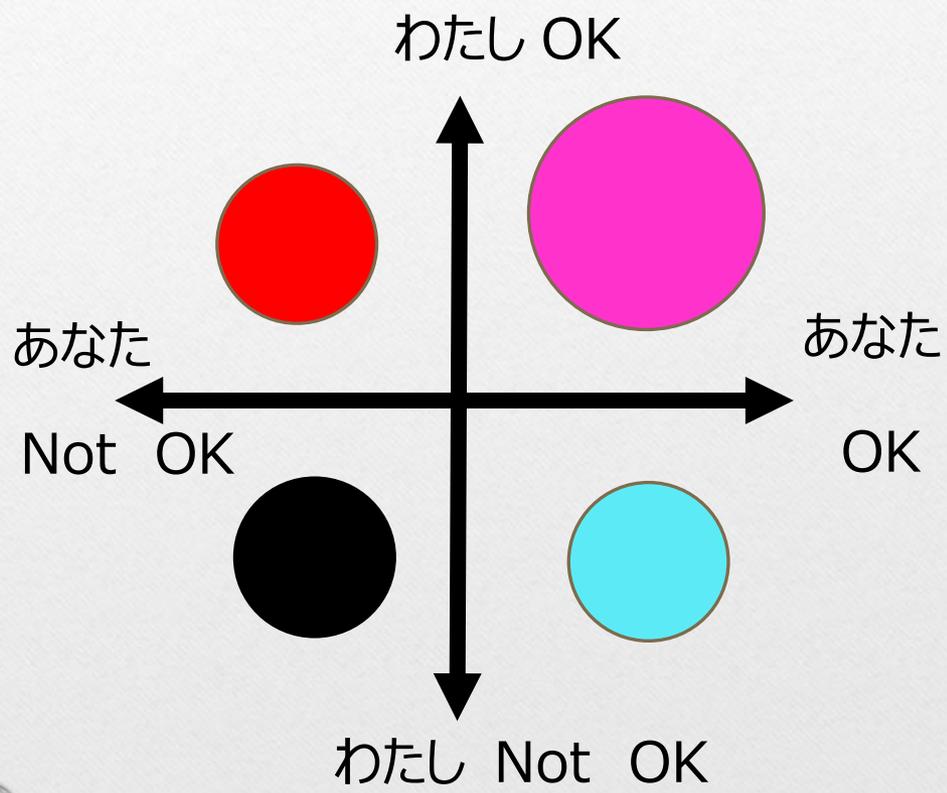
「生きづらさ」  
を感じている人達の  
想いやペースに寄り添い

**「おたがいさま」**  
の関係の中からみんなが

「ワクワク、笑って暮らせる」社会をめざしています

活動をするうえで  
大切にしていること

# お互いに尊重しあう関係性 多様性のある寛容で温かな社会



エンパワメント

自己肯定感

# やっていることは

**居場所 と 機会** を用意しています

---



- 競争社会の激化や働くことの価値観の変化等、様々な要因で
- ひきこもりの若者が増加
- 「社会的ひきこもり」からの自立をサポート



# ひきこもり

## 実情と社会課題

## ひきこもりの実数

15～39歳で2.05%

40～64歳で2.02%

**全国の数字にあてはめて**

**約146万人** と推計

2022年度「子ども・若者の意識と生活に関する調査」の結果を公表

内閣府2023年3月31日

## 小・中学校 不登校児童生徒数

**34万 6482人**

**過去最多を記録**

前年度から4万7434人増加、15.9%増  
小学校は13万370人、中学校は21万6112人

2023年度 文部科学省調査

# 15～39歳の若年無業者の数

令和5年

**59万人**

## ● 課題として

- 年齢層も幅広く長期化する傾向にある
- 理由も様々で一括りにできないので理解を得にくい
  - 発達障害が起因 ⇒ 福祉・医療と連携
  - 精神疾患が起因 ⇒ 福祉・医療と連携
  - その他の起因 ⇒ **社会的ひきこもり ⇒ なし**  
重複しているケースも多い 自死に至ることも多々ある

これらのことは・・・



誰にでも  
起こりうることです

決して「特定の人」  
の話ではありません

# 不登校 大半は親の責任

朝日新聞 10月18日

## 「フリースクール、国家の根幹崩しかねない」

### 東近江市長「不登校 大半は親の責任」

不登校対策について議論する滋賀県の首長会議が17日にあり、小椋正清・東近江市長が「フリースクールは国家の根幹を崩してしまうことになりかねない。よっぽど慎重に考えないといけない」と発言した。

小椋市長はフリースクールへの財政支援について「ごく少数の人に対して、負担をみなさい、というのはフリースクールに行きたいという雪崩現象が起こる怖さを感じる」とも発言した。2016年に成立した教育機会確保法では、フリースクールなど学校以外の「多様で適切な学習活動の重要性」が明記され、国や自治体に必要な財政支援に努めるよう求めている。

首長会議後、報道陣に発言の真意を問われた小椋市長は「不登校は大半は親の責任。財政支援を国が言うべきではない」と述べた。

小椋氏は元県警察官で、13年2月に同市長に初当選。17年、21年と2期連続で無投票当選している。(林利香)

色々な考え方が  
ありますが

みなさんは  
どう思われますか

**家族も悩みを抱えている  
「当事者」と言えます**

サポートネットでは

2020年度（大阪府人権協会人権NPO助成金）

2021年度（大阪狭山市市民公益活動促進補助金）

上記の助成を受け

不登校・ひきこもりの子どもを持つ家族の方への  
アンケート調査を実施しました

アンケート有効回収数 66部

## 情報に関する結果 一例

- どこに相談したらいいのかわからなかった 74%
- どのように探せばいいのかわからなかった 77%
- ネット検索情報の信憑性が図りにくい 76%
- 年齢・段階・状況によってどのような  
相談先があるのかわからない 80%
- 公的な窓口では民間の情報が  
ほとんどもらえない 71%

相談窓口などでどんなことがあるのか？

- ・窓口での対応に傷ついたことがある 49%



悩みを抱えた人がやっとの思いでたどり着いた  
ところでこのような体験をすると

次回も・・・ということが大変難しい状況

望む支援・不足している支援について

・情報をもらえるところが欲しい 73%

どんな情報？



**口コミ情報・・・同じ悩みを持つ人が  
実際に体験したもの**

# ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成チーム えすこーと

だれが・・・当事者家族体験がある  
現在支援現場に関わっている

なにを・・・リアルな声（口コミ）を集めたものを

**必要な人たちに寄り添える  
温かさのある発信を目指す**

情報収集

研修と交流

支援マップ

繋がりづくり  
地域連携

情報公開  
発信

# ひきこもり、不登校に関する 支援マップ作成チーム えすこーと

家族の会

支援団体

医療機関

当事者会

居場所

オンライン居場所

フリースクール

通信制校

子ども食堂



# LINE公式アカウント

様々な情報を発信しています

QRコードから

お友達登録してみてください

ご清聴ありがとうございました

